

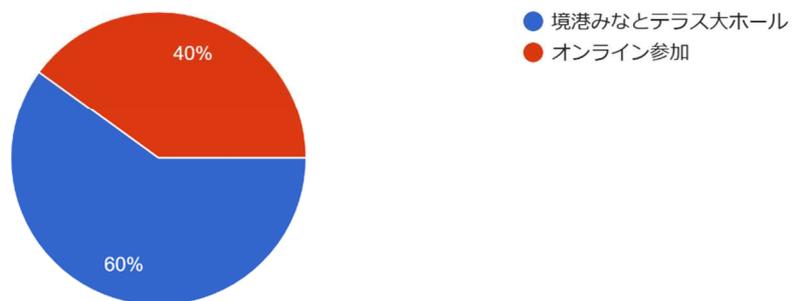
令和5年度 鳥取県PTA研究大会 参加者アンケート結果

日時: 令和5年11月25日(土) 13:00~16:00

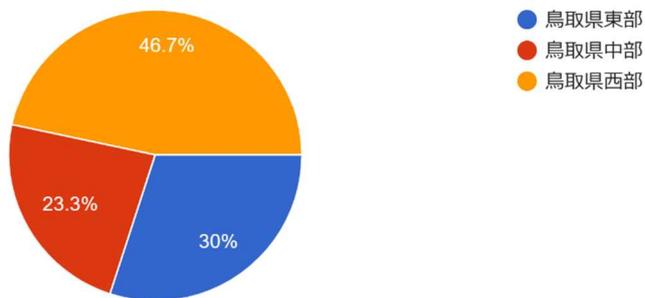
場所: 境港市民交流センターみなとテラス

会場参加者: 70名 オンライン参加者 54名

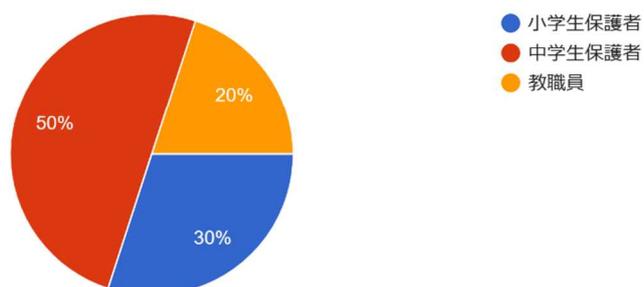
参加方法
30件の回答



参加地域
30件の回答



所属
30件の回答



施策説明 【大変良かった 20%・良かった 80%】

- ・現状を正しく知ることは大切であると思う
- ・短時間ではあったが、要点がまとめられてわかりやすく説明されていた。
- ・先進的な取り組みが県内で行われていることが知れた。
- ・興味のある内容だったのですが時間が短く、もっと詳しく聞きたいと思った。(同意見 複数)
- ・時間が足りなかったが、簡潔に施策の概要が理解できた。
- ・メディアとの関わり方については、親達は一番の懸案事項だと思われる。もう少しゆっくり聞けたらいいし、できるならPTAでの講演会なども考えたい。特色ある学校を知れた 時間の関係で漠然としており詳しくはわからなかったが、選択肢の一つにはなるのではないか
- ・ガバロリアル教育の内容が分かりやすかった
- ・社会教育課の説明について、スマホの利用年代が小学校低学年から始まっていると知り、驚いた。倉吉東高のバカロレア教育については、有名大学への進学をめざしているように感じた。大切なのはどこの大学に行くかではなく、どこで何を学ぶかだと思った。
- ・もう少し詳しく説明して頂けるような時間を確保した方がいいと思います。
- ・メディアとの付き合い方は、詳しく教えていただき、わかりやすかった。バカロレア教育について知らなかったが、なんとなく理解出来て良かった。
- ・施策の狙いが直接聞けて良かった
- ・時間の関係上早足でしたが、内容はわかりやすかったです。
- ・バカロレア教育は今までの鳥取県にはなかった学びですね。

実践発表 【大変良かった 56.7%・良かった 43.3%】

- ・コミュニティ・スクールとの関係性がこれからのPTAのポイントになる気がしました。
- ・PTAでどのように地域とつながりながら学校と関わっていかれたのか、具体的な取り組みを紹介していただき、他市町の様子を知ることができた。
- ・従来では考えられないような新しい取り組みをされている活動が紹介され、PTAの自治を感じられた。
- ・行政に任せるのではなくPTA主体で動けるということを認識できた
- ・学校と地域の連携は個人的に興味のあるテーマだったので、2校の取り組みは大変興味深く、刺激になりました。
- ・各実践から参考にできるものをいただけた。
- ・PTAのあり方の新たな可能性を知れた。横のつながりが希薄になっている現代だが、求めている人は多いし、やってみると新しく広がる目線があると思った。
- ・子どもが少なくなっている今必要なのは地域と繋がることだと思う
- ・子供達と一緒にあって、地域の方の協力も得て活動されている様子が良くわかった
- ・今後のPTA活動に、参考になった
- ・保護者が中学校の施設改善に動くことは、アメリカのようですごいなと感じた。南部町のコミュニティ・スクールは、進んでいると聞いていたが、地道に活動をされているんだなと思った。
- ・絆の深さに感銘を受けました。
- ・どちらもわかりやすくまとめられていて、聞きやすかった。それぞれでいろいろな取り組みをされていて、勉強になった。
- ・クラウドファンディング、コミュニティ・スクールの取り込みとも、有意義で、積極的な活動に感銘を受けた。特に断熱活動については、クラウドファンディングなども活用され、選択肢の一つとして検討の余地もあるかなと思いました。各所の理解も必要かとは思いますが…
- ・子ども、先生、保護者、地域の方々とのつながりが良かった。

講演会 【大変良かった 76.7%・良かった 23.3%】

演題 「今だからこそ！優しさと強さを育む親子の絆」 講師 心理カウンセラ 北沢 公博 氏

- ・自分を振り返る機会となりました。
- ・明るく楽しく、大事なことをわかりやすくお話しされ、私自身の子育ての振り返りができた。今しかできない子育てを、後悔しないように楽しみつつ子どもとともに自分自身も成長していきたいと考えさせていただく機会になった。また、教職員として、保護者の皆さんとこの気持ちを共有していくことができたらと思う。
- ・実体験を交えながら、とても熱い思いが伝わり、大人のあるべき姿、親の温かさや強さ、私たちが子どもを、日本を変えられるんじゃないかと思える、とても心にグッとくるお話しでした。私も一母親として、大谷選手のお母さんのように、大らかで居たいと思います。
- ・全体として確かにそうだと気づかされる事が多かった。知らなかったわけではないが、折りに触れ再考するべきないようだと感じた。ついつい、目先の事に心が動かされてしまい、子どもの成長を考慮に入っていない対応をしている自分を振り返ることができた。手遅れかなと思うことも多々あった。
- ・日常で忘れがちな前向きな考え方を再認識できた。
- ・はじめに大谷家の子育てが出てきた時点で 100m くらい後ろに下がってしまったのですが(心理的な意味で)、その後のお話はとても面白く、子どもとのかかわり方、放っておきかた、そして親としての在り方などとても勉強になりました。
- ・明朗でわかりやすく、共感できることもたくさんあり、楽しく拝聴した。後半の終盤のあたりで、ジェンダーの視点からすると誤解を招くような言い方があり少し気になった。
- ・聞きやすい話から、ユーモアのある学びでとても面白く聞けた。先生の話聞きながら、もう直ぐ高校を卒業する娘の顔がずっと浮かんでいた。一番目の子で親としても一年生であり、思い返せば母性・父性を見せてあげられていなかったなあと反省した。しばらくは笑顔で接することができそう。研究会後に、二人で出かけることがあり、こんな話を聞いたよ。と話ができ、娘の方からも「過干渉」の話が出来たのでとても良かった。多様性の時代にそぐわない発言も多々ありつつも、そこから学ぶことも多いと改めて感じた。
- ・まずは笑顔からと改めて思った 大人に余裕が無くて子供に向き合えていない 無気力な子供が大人になって行く、この連鎖を変えなきゃいけない 日常の子育てを楽しむ事をして行きたいと思った
- ・また講演をお聞きする機会が欲しいくらい、面白く、勉強になった
- ・中学生の親としては、一つひとつが耳に痛かったが、おっしゃる通りだなと感じた。小さな時にしっかり過保護で育てるというのは意外だった。しかし現実に思春時の中学生を相手にして思うのは、家族や親の存在はとても大きい。もっと親の力をPTAで発揮してもらわないといけないと感じた。
- ・今までの子育てを振り返り今後活かせる内容でした。
- ・講演は分かりやすいのとテンポが大事ですね。ウトウトしている暇なんてなかった。後で「良かったよな」と言える印象が第一だとおもいました。
- ・今後、子どもと接する上で考えさせられることの多い講演だった。
- ・今日からでも実践できそうな事も多く、子どものために頑張っていこうと思った。楽しく、勉強になる内容で参加して良かったと思った。
- ・例示された内容がやや極端に感じたところもあったが、わかりやすく刺激を受けるものであった。
- ・気さくな話し方で、笑いもありながらあっという間に時間が過ぎました。今年は色々な方の講演会に参加させていただきました。共通して皆さんが話されることは、「不登校」「犯罪」「自殺」などに共通して「家庭での会話が少ない」「親や家族に自分を認められていない感がある」など家庭での問題が多くあるという事です。今の世の中では、親御さんも生きていく事に必死で、なかなか子供の事に目を向けてあげられない家庭も少なくないと感じています。世の中が変わらなると難しいところもありますが、少しでも我が子に無償の愛を与えられる親御さんが増えたら、また自分自身もそういう親でいたいと感じました。
- ・お話しが面白いし、子育てに参考となる話でした。

全体を通して

- ・教育長さんのあいさつが素敵でした。
- ・オンラインで視聴していても、会場の様子がよくわかるように字幕などを入れて下さりありがとうございました。
- ・主催者の皆様お疲れ様でした。大変お世話になりました。本会は、参加がとてもしやすく、参加すればよい時間となると思います。ただ、どうすれば参加者がもっと増えるのか。声かけや連絡はできても、参加までにならないのはなぜか。先入観もあるかも知れないが、親自身に余裕がないのかも知れない？
- ・オンラインはとても良い取り組みだと思います。気楽に参加できました。
- ・県 P の研究大会というものに初めて参加しましたが、素直に面白かったです。発表も講演会も学ぶことが多くあり有意義でした。閉会式の挨拶でお話しされていたように、学んだことを子どもに還元していけたらいいなと思いました。
- ・会場までの往復時間を考えると、オンライン配信していただき大変ありがたかった。テンポよく円滑に進行されていたように思う。お世話になりました。
- ・本来なら会場にて参加する予定だったが、子の発熱により急遽オンラインでの参加になったが、QR コードの案内や HP から資料ダウンロードなど用意がされており助かった。
- ・音声・画質・スライド共にとても見やすかった(聞き取りやすかった)
- ・閉会の挨拶で「今回の話を子ども達に還元する」というところは、常々おもっていることで、“何のために PTA 活動をしているのか”が、明確でないまま活動を行うのは本当にもったいないことだと思う。
- ・PTA の P の部分では特に、それが疎かになりがちで今後の課題でもあるとおもった。ありがとうございました。
- ・大会関係者の皆様、ありがとうございました。
- ・とても良い大会なのに、参加者が少なくて勿体無い。やはり各単 P は要請人数は出さないといけないと思う。
- ・時間・内容とも良かったと思います。
- ・会場が遠かったですが、これは担当ブロックの関係で仕方ないのでしょうか。
- ・会場参集者が少なかったのが残念。PTA って、やっぱりアナログ付き合いが大事で、声掛け、呼び掛け、時には動員という名のまず「参加」があってもいいんじゃないかと思いました。これからの時代のなかで PTA の存在意義を考える必要がありますね。だから、会場も含めて、もう少し熱くなれる時間があっても良かったかなと感じた次第です。運営事務局の皆様方たいへんお世話になりました。ありがとうございました 😊
- ・役員さん、お疲れさまでした。とても素晴らしい会で参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・会場参加者が少なくて、来賓、発表者、講師の先生方に申し訳なく思いました。なんとか、強制的でなくても参加が増える方法を共に考えましょう。
- ・地元地域の先進事例が生で聞けたことは大変有意義であった。オンライン参加者がどれだけいたかはわからないが、もっと会場参加者が欲しい。満足感が高い内容であり、今後も誘い合い参加させてもらいたい。
- ・大会運営のスタッフの皆さん、県 P の役員の皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。このような研修会を通じて、県内の PTA の絆を深め、県内の子供達が幸せに過ごせる環境となればいいなあ。と思います。